

## 教育課程の意義

### 教育課程

教育課程とは、大学の教育目標を達成するための具体的な教育内容（授業科目）を、どのような順序で履修するかを規定（学年別に配列）したものである。

スポーツ健康学科では多面的な視点から「スポーツと健康」を探究・究明する人材の育成を目標としており、「教養教育科目」、「専門基礎科目」、「専門教育科目」と科目区分ごとに科目が設置されている。また、「専門教育科目」は、領域ごとに履修できる科目群が異なるため、学生諸君は、卒業後の進路を見据えて、4年間の履修計画を作成する必要がある。

### スポーツ健康学科の教育課程の概要

1. 「教養教育科目」は、全学共通科目を位置づけ、大学生としての幅広い教養と社会性に必要なアカデミックスキルやライフデザインスキル獲得のための共通コア科目と、共通選択科目を設置する。
2. 「専門基礎教育科目」は、「専門教育科目」への導入とし、「ウェルネス」「スポーツ」「健康」を理解する基礎となる科目群を設置する。
3. 「専門教育科目」は、体系的な知識を応用し、実践する能力を養う科目で構成する。「健康づくり指導・実践」の基礎を習得することを目的とし、健康支援人材として必要な「健康」「スポーツ」に関する基礎的内容を設置する。
4. 「スポーツ領域」では、スポーツパフォーマンスの向上やアスリートの養成、ハイレベルなスポーツ指導者・コーチ、実践的な保健体育教員を目指すために必要なスポーツ科学や実践を学ぶ科目を設置する。「健康領域」では、個々ならびに社会全体のウェルネスを向上させるための健康指導のスペシャリストや、養護教諭を目指すために必要な健康科学の理論や実践を学ぶ科目を設置する。